

磐梯吾妻スカイ・レーク・ゴールドライン

資料1

登録申請内容 チェックリスト

風景街道名称: 磐梯吾妻スカイ・レーク・ゴールドライン			
判定例: ○→満足している、×→不十分である			
登録条件		申請及び確認事項	判定
1	風景街道パートナーシップが組織されている	磐梯吾妻観光推進協議会（道路管理者以外として、「（一社）福島市観光コンベンション協会」など、道路管理者として、「福島県北建設事務所」・「福島県喜多方建設事務所」などで構成）	○
2	日本風景街道の地域資源のうち、いずれか一つ以上の資源を申請している「風景街道」に有している	・ 景観・自然資源となる「浄土平」「吾妻八景」「山湖台」「中津川溪谷」「五色沼湖沼群」「磐梯山」などメインとなる資源は中心となる道路沿いにある。	○
3	風景街道パートナーシップが日本風景街道の理念に賛同し、それらに合致した活動を継続的に実施している	申請書の活動目的が日本風景街道の理念に合致している。また、申請者である「磐梯吾妻観光推進協議会」は、当該ルート周辺の自然観光情報を盛り込んだドライブマップを作成し関係各所に配布して周遊する観光客の利便を図るとともに、主要道路等の清掃活動を継続して実施している。	○
4	申請している「風景街道」に「中心となる道路」が存在している	中心となる道路は、かつて有料道路であった下記の3ラインである。 ○ 磐梯吾妻スカイライン（通称）（県道70号：高湯温泉あつたか湯～県道30号合流点） L=28.7km ○ 磐梯吾妻レークライン（通称）（県道70号：林道市沢線合流点～国道459号合流点） L=13.1km ○ 磐梯山ゴールドライン（通称）（県道64号：国道459号合流点～磐梯町源橋地内） L=17.6km	○
5	風景街道パートナーシップに暴力団その他反社会的活動を行う団体が含まれていない	含まれていない	○
6	風景街道パートナーシップが特定の政治的及び宗教的信条にもとづく活動をおこなっていない	政治的・宗教的信条にもとづく活動を行っていない	○

磐梯吾妻スカイ・レーク・ゴールドライン現地事前視察

東北風景街道の21箇所目の登録を目指して、東北風景街道協議会委員による現地事前視察

- ・実施日：平成28年11月8日(火)・9日(木)
- ・参加委員：(株)東北地域環境研究室 代表 志賀 秀一 氏、
東京大学 アジア生物資源環境研究センター 教授 堀 繁 氏 計 2 名
- ・申請予定者：磐梯吾妻観光推進協議会

①現地事前視察及び意見交換

地域資源や磐梯吾妻スカイライン・磐梯吾妻レークライン・磐梯山ゴールドラインを中心に視察を実施。



高湯温泉(磐梯吾妻スカイライン)



道の駅「つちゆ」



涼風峠(磐梯吾妻レークライン)

②意見や助言の内容

風景街道が成功する一つの形は、パートナーシップの活動によって当該風景街道が磨かれ、魅力が増し、その結果集客し地域が潤うというものである。風景街道への登録を申請している磐梯吾妻観光推進協議会には、道路管理者以外に、風景街道沿線の観光拠点、観光施設関連の多くの団体が参加している。それらの団体がそれぞれの地区や施設を丁寧に磨いて魅力を作っていくことが出来れば、当該風景街道全体の魅力が高まると期待されると同時に、各地区、各施設の集客も見込めるはずである。したがって、磐梯吾妻観光推進協議会のもとに、各地区、各施設が競って魅力づくりがおこなわれるような体制を作っていくことが成功の大事なポイントとなると思われる。